

## 平成29年度エゾシカ夜間銃猟モデル捕獲事業委託業務 企画提案書作成要領

### 1 様式等

- (1) 企画提案書の様式は、別紙の標準様式によるものとしますが、定められた事項が網羅されている範囲内で、様式を変更しても差し支えありません。
- (2) 用紙の規格は、A4判縦長とします。（図面等を表示するためA3折り込みは可）とします。
- (3) 文章を補完するために、写真、イラスト等を使用することができます。
- (4) 記載内容が定められた様式に収まらない場合は、適宜枚数を増やしても差し支えありません。

### 2 企画提案書作成上の留意事項

企画提案書に記載する項目は、企画提案指示書の「3 委託業務の内容」及び「6 提案にあたっての留意事項」に関する次の事項です。

- (1) 提案者の概要

様式に沿って各項目を記入してください。  
コンソーシアムの場合は、代表法人及び構成法人ごとに記載してください。
- (2) 総括責任者及び業務担当者

総括責任者及び業務担当者は、当該業務を実際に担当する方について知るためのものです。提出後に当該業務を担当できなくなった場合には、企画提案書が無効となる場合がありますので、確実に担当できる方の氏名、役職、経験年数、主な実績を記入してください。
- (3) 業務処理体制

当該業務を実施するための体制について記入してください。また、連絡する外部機関がある場合は、当該機関との関係についても記入してください。
- (4) 誘引捕獲や夜間銃猟等に関する知見及び業務実績

誘引捕獲や夜間銃猟等に関する知見について記載してください。  
また、過去に国・地方公共団体又は民間事業者との間で契約・履行した類似・関連業務の実績を記入してください。コンソーシアムの場合は、代表法人及び構成法人全てに関して記入してください。
- (5) 効果的捕獲手法検討のためのモデル捕獲実施
  - ア 捕獲計画

夜間銃猟によるモデル捕獲を実施するための計画について、次の事項に基づき作成してください。なお、提案に際して、関係機関等と連絡調整を行った場合は、その状況について記載してください。
  - (ア) 調査の方法及び捕獲効果の検証方法

(イ) 捕獲実施手順（誘引を含めた捕獲準備・捕獲・捕獲回収）とその方法

(ウ) 実施体制

(エ) 必要となる資材及び人数

(オ) 業務全体に係る安全管理方法（ヒグマ対策含む）

(カ) 捕獲区域周辺の住民等に対する安全管理及び周知方法

(キ) 事故発生等の緊急時の対応方法

(ク) 関係機関（市町村、土地所有者、獵区管理者等）との連携・調整方法

#### イ 留意事項

捕獲計画作成に当たっては、次の事項を踏まえたものとします。

(ア) 実施地域は、ペンケ林道及びショウペンケ林道（別図）の森林内及び林縁部とすること。

(ア) 捕獲については、エゾシカの出没が多い時間帯を把握した上で実施すること。

(イ) 誘引のための餌については、圧片大麦を基本としたヒグマを誘引しない資材を使用すること。

(ウ) 一般利用者の林道使用を規制した上で、車両で林道を移動し、あらかじめ設定した射撃場所から給餌場に誘引されたエゾシカの群れを狙撃すること。

(エ) 給餌場から射撃場所までの距離は100m以内とすること。

(オ) 狙撃に際しては、ライフル銃を使用すること。

(カ) 狙撃体制を含む実施体制は、十分に安全を確保できる体制とすること。

(キ) 発砲時の照射用ライトは、2000ルーメン以上のスポットライトとすること。

(ク) エゾシカの発見率の向上及び事故防止のため、分解能2.0以下のサーモカメラを使用すること。

(ケ) 群れ全頭の捕獲を原則とし、3頭以下の群れを狙撃の対象とすること。

(コ) 群れの構成や狙撃順序を正確に判断し、脳又は頸椎を狙撃すること。

(サ) 捕獲の際、エゾシカの群れサイズ、出没時間、発砲状況などの捕獲行為の内容、エゾシカの発砲状況の反応等を記録すること。

(シ) 捕獲実施時期は平成29年12月から平成30年2月末までとし、実施回数は15回程度を目安とすること。

(ス) 捕獲目標頭数は80頭程度とすること。

(セ) その他計画作成に当たっては、「北海道におけるエゾシカ夜間銃猟実施に係る指針（ガイドライン）暫定版」及び「平成28年度エゾシカ夜間銃猟モデル捕獲事業委託業務結果報告書」の内容を踏まえること。

#### （6）捕獲個体の回収・処分

##### ア 捕獲個体の回収

捕獲個体の回収方法について、実施手順のほか、実施体制や必要となる資材及び人数等を記載してください。

なお、捕獲個体は、個体毎に捕獲者、捕獲日時、捕獲場所、性別、年齢クラス(0, 1, 2, 3歳以上)、体サイズ（頭部四肢付の体重、胸囲、後足長）、角の状況（オスジカの場合）、妊娠の有無及び栄養状況の分析（腎脂肪計測、皮下脂肪計測、骨髓脂肪観察）等を記録した捕獲個体記録票を作成し、撮影年月日を表示した捕獲個体の撮影写真を添付することとします。

#### イ 捕獲個体の処分方法

捕獲個体の処分方法（廃棄物・食肉利用等）について、その受入先や受入能力及び条件等について記載してください。

なお、捕獲個体の処分については、食肉やペットフードなどできる限り有効活用に努め、困難な場合は、一般廃棄物として適正に処分することとしてください。

また、捕獲個体を有効活用する場合は無償譲渡とし、一般廃棄物として処分する場合は、搬出、運搬、受入を行った記録を整理するとともに、捕獲個体が他の事業に流用されることのないよう留意してください。

#### (7) 夜間銃猟ガイドライン

北海道におけるエゾシカ夜間銃猟実施に係る指針（ガイドライン）の構成や考え方などについて、詳細に記載してください。

なお、記載に当たっては、モデル捕獲事業の結果を反映するとともに、北海道が作成した、「北海道におけるエゾシカ夜間銃猟実施に係る指針（ガイドライン）暫定版」及び「平成28年度エゾシカ夜間銃猟モデル捕獲事業委託業務結果報告書」の内容を踏まえてください。

#### (8) 業務計画

委託業務開始から完了までのスケジュールについて、北海道との協議時期を含め、捕獲等の方法、安全確保策、捕獲個体の回収・処分、夜間銃猟ガイドラインなど一連の流れが分かるように記入してください。（委託業務開始は10月上旬を予定しています。）

#### (9) 業務処理に要する見積金額（消費税及び地方消費相当額を含む）

対象となる経費は別表の範囲とします。

消費税及び地方消費税相当額を含む見積金額及び積算内訳について記入してください。

なお、見積金額は、委託期間を平成29年10月上旬から平成30年3月20日として算出してください。

### 3 企画提案書の提出部数及び方法

#### (1) 提出部数

提出部数は10部とする。

#### (2) 提出方法

それぞれ別紙様式の表紙をつけてください。企画提案者名は1部のみ記入し、残りの9部には記載しないでください。

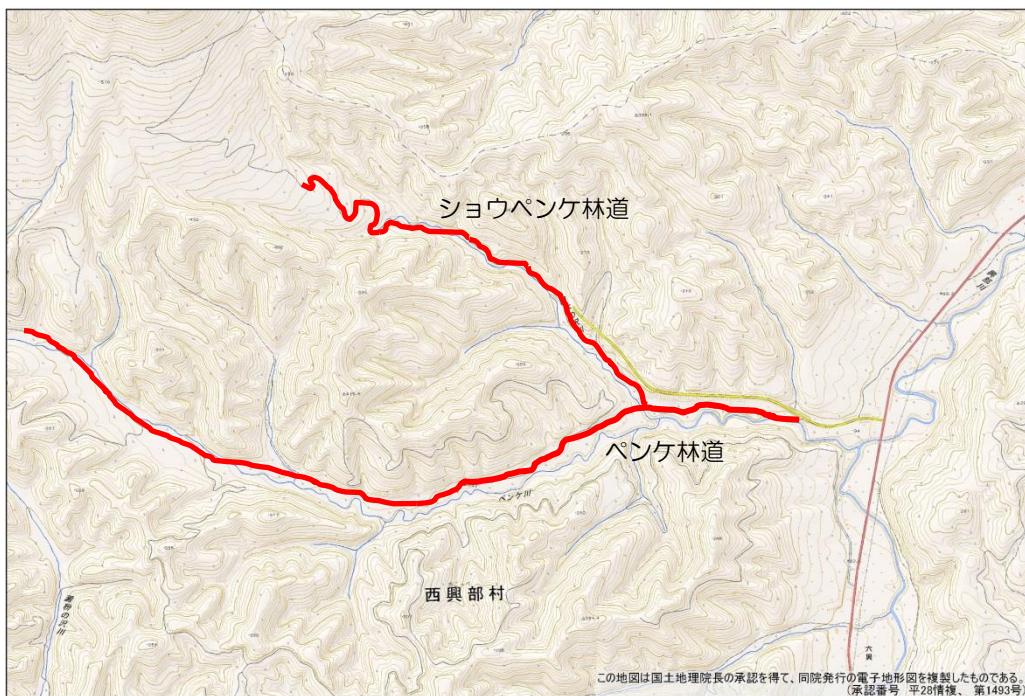
企画提案者名を記載しない9部については、表紙の企画提案者の欄及び「1提案者の概要」の「企画提案者名」から「従業員数」の欄までを空欄にして提出してください。

また、企画提案書はコピーが可能な用紙を使用し、丁合後、ホチキスやクロステープなどで綴じずに、ダブルクリップ等で留めてください。

#### 4 問い合わせ窓口

本事業の企画提案に関する問い合わせ窓口は、「企画提案説明書」の4（1）となります。

(別図)



(別表)

対象となる経費の区分と内容

経費区分	内 容
1 諸謝金	講師、専門家等の招聘、原稿執筆に対する諸謝金にかかる経費をいう。
2 旅 費	航空機、鉄道、バス、船等の運賃、日当および宿泊に要する経費をいう。
3 備品費	原則単価2万円以上で、反復利用に耐える物品や機器の購入等に要する経費をいう。
4 資材購入費	事業を実施する上で必要な資材購入等に要する経費（直接施工が困難な場合の必要最低限の工事請負費を含む。）をいう。
5 消耗品費	単価が2万円未満の物品や機器であって、おもに消耗される物品の購入等に要する経費をいう。
6 印刷製本費	資料等の印刷、製本、写真焼付、図面焼増等に要する経費をいう。
7 通信運搬費	郵便料、電話料、配達業務、その他通信運搬に要する経費をいう。
8 借料及び損料	車両、会場、機器類等の使用賃借、光熱水費、借入金の金利支払等に要する経費をいう。
9 賃金	日々雇用者に対する賃金支払いに要する費用をいう。
10 雜役務費	手数料等、役務の対価として支払う経費をいう。
11 保険料	捕獲又は調査に従事する者の保険料をいう。
12 その他	その他必要な経費で北海道知事が承認した経費。

※ただし、捕獲報奨金、銃、被害防止のための器具の購入及び侵入防止用の柵等被害防止のための施設、処理加工施設、射撃場の整備等を除く。